



《教育目標》

明るく 賢く 強く やりぬく

《重点目標》

めあてをもって
最後までやりぬく生徒

他を思いやり 励まし合って
互いに向上しようとする生徒

《学校経営の理念》

『すべての生徒が3年間を楽しく過ごせる学校』

《向上を目指す3つの力》

『自分を高める力』

- ▷目標・夢をもつ力
- ▷挑む力

『自分と向き合う力』

- ▷あきらめない力
- ▷自分を調整する力

『他者をつながる力』

- ▷協働する力 ▷伝える力
- ▷受け入れる力

生徒の実態

- 明るく素直で、学校生活を楽しんでいる
- 自分にはよいところがあると思う生徒が多い
- 相手の話を傾聴し、真剣に聴くことができる
- 学習や生活のめあてをもって毎日過ごしている生徒が大幅に増えた
- 友達と力を合わせて学習や活動ができる
- 学ぶことを楽しむ生徒が減少してきている
- 基本的な生活習慣は身につけてきているが、メディアコントロールに課題を抱えている

目指す子どもの姿

- 目標をもち、主体的に課題解決に向かう子ども
- 地域から学び、共に伸びていく子ども
- 相手を思いやり、協働する子ども



校内研修の推進

- 《向上を目指す3つの力》と「行動指標」を具体化し、「キャリア・ノート」と一体的に活用する
- 「AARサイクル」を授業や学校行事等の活動の基本とし、「クラス会議」を意図的・計画的に行うことで、「振り返り」の質を高める
- 日常的な見取りと適時的なフィードバックで「意識づけ」を図る
- 授業で引き出したい力・姿・行動を明確にし、意図的な「仕掛け（ギミック）」を工夫する
- 「傾聴」（注目・集中・肯定）を支持的風土醸成の基盤とし、すべての活動で取り組む
- 教師の実践にも「AARサイクル」を繰り返す

地域連携の推進

- 学校運営協議会での熟議を通して、教育活動のあり方について不断の見直しを行う
- 地域と学校パートナーシップ事業等を通して、地域と連携した取組の一層の推進を図る
- 保小中連携推進協議会の事業を通して、保小中一貫教育で育むべき力について共通に研修する
- 家庭や地域諸団体等への広報・情報共有を通して、教育活動への理解を促し、連携した取組を推進する

